

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

臨床工学科

授業科目 (科目ID)	生体機能代行装置学実習Ⅱ		担当教員  (実務経験)	本吉 竜浩  臨床工学技士として医療機器を用いた循環器に関する業務に従事 別紙1参照		
対象年次・学期	3年・前期		必修・選択区分	必修	単位数	3単位
授業形態	実習		授業回数(1回90分)	45	時間数	90時間
授業目的	生体機能代行装置学実習Ⅰで実習したことを基本に、人工呼吸器、人工心肺装置、血液浄化装置を実際に操作して、システムを学ぶ。					
到達目標	生体機能代行装置の使用・管理において即戦力となりえる技術を習得し、正しく操作できる。					
テキスト・参考図書等	臨床工学講座「生体機能代行装置学 体外循環装置」第2版(医歯薬出版) 臨床工学講座「生体機能代行装置学 呼吸療法装置」第2版(医歯薬出版) 臨床工学講座「生体機能代行装置学 血液浄化療法装置」第2版(医歯薬出版)					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	50%	①実技試験 ②レポート提出 以上を総合して評価する。			
	レポート	50%				
	小テスト	%				
	提出物	%				
	その他	%				
履修上の留意事項	少人数でのグループ実習。					
	回数	履修主題	履修内容			
履修主題・履修内容	1	学内実習・体外循環(1)	回路組み、プライミング、オクリュージョン調整(1)			
	2	学内実習・体外循環(2)	回路組み、プライミング、オクリュージョン調整(2)			
	3	学内実習・体外循環(3)	基本操作(1)			
	4	学内実習・体外循環(4)	基本操作(2)			
	5	学内実習・体外循環(5)	基本操作(3)			
	6	学内実習・体外循環(6)	基本操作(4)			
	7	学内実習・体外循環(7)	トラブルシューティング(1)			
	8	学内実習・体外循環(8)	トラブルシューティング(2)			
	9	学内実習・血液浄化(1)	透析のプライミング(1)			
	10	学内実習・血液浄化(2)	透析のプライミング(2)			
	11	学内実習・血液浄化(3)	透析のプライミング(3)			
	12	学内実習・血液浄化(4)	透析のプライミング(4)			
	13	学内実習・血液浄化(5)	透析の開始操作(1)			
	14	学内実習・血液浄化(6)	透析の開始操作(2)			
	15	学内実習・血液浄化(7)	透析の返血(1)			

	回数	履修主題	履修内容
履修主題・履修内容	16	学内実習・血液浄化(8)	透析の返血(2)
	17	学内実習・血液浄化(9)	落差プライミング(1)
	18	学内実習・血液浄化(10)	落差プライミング(2)
	19	学内実習・人工呼吸器(1)	疾患別の呼吸管理(1)
	20	学内実習・人工呼吸器(2)	疾患別の呼吸管理(2)
	21	学内実習・人工呼吸器(3)	気管吸引と気道管理(1)
	22	学内実習・人工呼吸器(4)	気管吸引と気道管理(2)
	23	学内実習・人工呼吸器(5)	人工呼吸器のメンテナンス(1)
	24	学内実習・人工呼吸器(6)	人工呼吸器のメンテナンス(2)
	25	学内実習・心臓カテーテル(1)	心臓カテーテル検査及び治療の流れ(1)
	26	学内実習・心臓カテーテル(2)	心臓カテーテル検査及び治療の流れ(2)
	27	学内実習・高気圧酸素治療(1)	高気圧酸素治療の実際(1)
	28	学内実習・高気圧酸素治療(2)	高気圧酸素治療の実際(2)
	29	学内実習・急性血液浄化(1)	アフエーシス装置の操作、点検(1)
	30	学内実習・急性血液浄化(2)	アフエーシス装置の操作、点検(2)
	31	学内実習・ペースメーカー(1)	ペースメーカーチェック(1)
	32	学内実習・ペースメーカー(2)	ペースメーカーチェック(2)
	33	学内実習・総合(1)	生体機能代行装置に関する実務調査(1)
	34	学内実習・総合(2)	生体機能代行装置に関する実務調査(2)
	35	学内実習・総合(3)	生体機能代行装置に関する実務調査(3)
	36	学内実習・総合(4)	生体機能代行装置に関する実務調査(4)
	37	学内実習・総合(5)	生体機能代行装置に関する実務調査(5)
	38	学内実習・総合(6)	生体機能代行装置に関する実務調査(6)
	39	学内実習・総合(7)	生体機能代行装置に関する実務調査(7)
	40	学内実習・総合(8)	患者対応(1)
	41	学内実習・総合(9)	患者対応(2)
	42	学内実習・総合(10)	患者対応(3)
	43	学内実習・総合(11)	患者対応(4)
	44	学内実習・総合(12)	患者対応(5)
	45	学内実習・総合(13)	患者対応(6)

授業科目 (科目ID)	生体機能代行装置学実習Ⅱ	担当教員 (実務経験)	原田 祐輔 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 臨床工学技士として医療機器を用いた呼吸器に関する業務に従事
対象年次・学期	3年・前期	担当教員 (実務経験)	奥田 正穂 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 臨床工学技士として医療機器を用いた循環器に関する業務に従事
授業形態	実習	担当教員 (実務経験)	布施 崇宏 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 臨床工学技士として医療機器を用いた血液浄化に関する業務に従事
		担当教員 (実務経験)	佐々木 信一 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 臨床工学技士として医療機器を用いた循環器に関する業務に従事
		担当教員 (実務経験)	山本 浩幸 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 臨床工学技士として医療機器を用いた循環器に関する業務に従事
		担当教員 (実務経験)	寺島 斉 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 臨床工学技士として医療機器を用いた呼吸器に関する業務に従事
		担当教員 (実務経験)	齋藤 徳 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 臨床工学技士として医療機器を用いた呼吸器に関する業務に従事
		担当教員 (実務経験)	千原 伸也 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 臨床工学技士として医療機器を用いた血液浄化に関する業務に従事
		担当教員 (実務経験)	扇谷 稔 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 臨床工学技士として医療機器を用いた循環器に関する業務に従事
		担当教員 (実務経験)	川西 啓太 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 臨床工学技士として医療機器を用いた血液浄化に関する業務に従事
		担当教員 (実務経験)	岡山 雅哉 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 臨床工学技士として医療機器を用いた血液浄化に関する業務に従事
		担当教員 (実務経験)	本間 将平 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 臨床工学技士として医療機器を用いた循環器に関する業務に従事
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

臨床工学科

授業科目 (科目ID)	医用機器安全管理学Ⅱ		担当教員  (実務経験)	工藤 元嗣  臨床工学技士として医療機器の安全管理に関する業務に従事 別紙1参照	
対象年次・学期	3年・通期		必修・選択区分	必修	単位数 2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数 30時間
授業目的	患者と操作者の安全を守るための医療施設における電氣的安全と医療ガス、他ME機器の安全性・安全管理について学ぶ。				
到達目標	医療機器を用いた検査治療において危険を察知し適正な管理を実施できるようになる。				
テキスト・参考図書等	臨床工学講座「医用機器安全管理学」第2版(医歯薬出版) 手術室における臨床工学技士の業務マニュアル(北海道臨床工学技士会)				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	100%	試験により評価する		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
その他	%				
履修上の留意事項	①板書・スライドを中心とした講義形式。②遅刻はしないこと。③授業中の私語、携帯、居眠り厳禁。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	手術室における安全管理	麻酔器の管理①		
	2	手術室における安全管理	麻酔器の管理②		
	3	手術室における安全管理	内視鏡装置の管理①		
	4	手術室における安全管理	内視鏡装置の管理②		
	5	手術室における安全管理	手術室におけるモニタ機器の管理		
	6	手術室における安全管理	手術室におけるその他の安全管理①		
	7	手術室における安全管理	手術室におけるその他の安全管理②		
	8	安全管理学(1)	人体の安全限界		
	9	安全管理学(2)	医用室の安全対策①		
	10	安全管理学(3)	医用室の安全対策②		
	11	安全管理学(4)	医用ガス		
	12	安全管理学(5)	システム安全		
	13	安全管理学(6)	医用機器安全管理責任者		
	14	総合まとめと確認	問題演習と解説①		
15	総合まとめと確認	問題演習と解説②			



2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

臨床工学科

授業科目 (科目ID)	医用機器安全管理学実習		担当教員	小山 有基		
			(実務経験)	有 <input type="checkbox"/>	無 <input checked="" type="checkbox"/>	別紙1参照
対象年次・学期	3年・前期		必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	実習		授業回数(1回90分)	22	時間数	44時間
授業目的	臨床工学技士として安全管理の考え方を理解することを目的とする。					
到達目標	臨床工学技士に求められる安全管理の在り方を調査・研究できるようになる。					
テキスト・ 参考図書等	臨床工学講座「医用機器安全管理学」第2版(医歯薬出版)					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	%	①研究データ ②発表技術 ③抄録・スライド提出 以上を総合して評価する			
	レポート	%				
	小テスト	%				
	提出物	%				
	その他	100%				
履修上の 留意事項	①パソコンを使用し、研究発表や文書作成。②実際の装置や測定機器を使用した実習。③遅刻はしないこと。④授業中の私語、携帯、居眠り厳禁。					
	回数	履修主題	履修内容			
履修主題・ 履修内容	1	研究テーマ策定	実習の流れ及び研究内容の選択			
	2	安全管理研究発表(1)	要旨作成(1)			
	3	安全管理研究発表(2)	要旨作成(2)			
	4	安全管理研究発表(3)	要旨作成(3)			
	5	安全管理研究発表(4)	要旨作成(4)			
	6	安全管理研究発表(5)	PPT作成(1)			
	7	安全管理研究発表(6)	PPT作成(2)			
	8	安全管理研究発表(7)	PPT作成(3)			
	9	安全管理研究発表(8)	PPT作成(4)			
	10	安全管理研究発表(9)	PPT作成(5)			
	11	安全管理研究発表(10)	PPT作成(6)			
	12	安全管理研究発表(11)	PPT作成(7)			
	13	安全管理研究発表(12)	PPT作成(8)			
	14	安全管理研究発表(13)	PPT作成(9)			
	15	安全管理研究発表(14)	PPT作成(10)			

	回数	履修主題	履修内容
履修主題・履修内容	16	安全管理研究発表(15)	PPT作成(11)
	17	安全管理研究発表(16)	PPT作成(12)
	18	安全管理研究発表(17)	PPT作成(13)
	19	安全管理研究発表(18)	研究発表(1)
	20	安全管理研究発表(19)	研究発表(2)
	21	安全管理研究発表(20)	研究発表(3)
	22	安全管理研究発表(21)	研究発表(4)





2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

臨床工学科

授業科目 (科目ID)	関係法規		担当教員	西田 昌弘		
			(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	弁護士として医療裁判などに関する業務に従事	
対象年次・学期	3年・前期		必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	8	時間数	16時間
授業目的	職域を広げられるようになるため、医療法や臨床工学技士法など法律に関する理解を深める。					
到達目標	臨床工学技士業務を行う上で必要な関連法規に関する知識を幅広く習得する。					
テキスト・ 参考図書等	臨床工学技士標準テキスト第3版増補版(金原出版)					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	100%	試験により評価する。			
	レポート	%				
	小テスト	%				
	提出物	%				
	その他	%				
履修上の 留意事項	①スライドを用いた講義形式。②口頭説明の重要な内容を配付プリントに適宜メモすること。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	CEに必要な法規(1)	法の意義、体系			
	2	CEに必要な法規(2)	臨床工学技士法(1)			
	3	CEに必要な法規(3)	臨床工学技士法(2)			
	4	CEに必要な法規(4)	臨床工学技士業務指針(1)			
	5	CEに必要な法規(5)	臨床工学技士業務指針(2)			
	6	CEに必要な法規(6)	医療法(1)			
	7	CEに必要な法規(7)	医療法(2)			
	8	CEに必要な法規(8)	その他の関係法規			

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

臨床工学科

授業科目 (科目ID)	臨床医学総論Ⅲ		担当教員  (実務経験)	金谷 樹  臨床工学技士として医療機器を用いた泌尿器に関する検査や治療業務に従事 別紙1参照	
対象年次・学期	3年・通期		必修・選択区分	必修	単位数 4単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	30	時間数 60時間
授業目的	臨床工学技士に必要な臨床医学分野の知識を学ぶ。				
到達目標	臨床業務に必要な医学知識の習得と関連分野の国家試験問題が解ける。				
テキスト・ 参考図書等	配布プリント 臨床工学講座「生体機能代行装置学 血液浄化療法装置」第2版(医歯薬出版)				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	100%	試験により評価する		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の 留意事項	①スライドを用いた講義形式。②遅刻はしないこと。③授業中の私語、携帯、居眠り厳禁。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	腎疾患(1)	HD患者の栄養指導(P、K、塩分、水分、エネルギー等)		
	2	腎疾患(2)	貧血について①(管理目標値、ESA、HIF-PH阻害剤等)		
	3	腎疾患(3)	貧血について②(ERI、鉄代謝、鉄関連パラメータ等)		
	4	腎疾患(4)	HD患者特有のデータについて(n-PCR、KT/V等)		
	5	腎疾患(5)	患者監視装置について(構成、トラブル等)		
	6	腎疾患(6)	HD中の患者管理について(BP低下、下肢つり、抜針事故等)		
	7	腎疾患(7)	HD患者によく使用する薬剤について(昇圧剤、降圧剤、P、K吸着剤、ESA等)		
	8	腎疾患(8)	タンパク結合毒素(原因物質、機序、対策)、フレイル(機序、対策、指導)について		
	9	腎疾患(9)	パラメータや薬剤		
	10	腎疾患(10)	振り返り、ディスカッション準備と復習		
	11	腎疾患(11)	ディスカッション①(班に分かれて実践的なパラメータを読み判断する)		
	12	腎疾患(12)	ディスカッション②(各班代表者が発表する)		
	13	血液疾患(1)	血液の働き(1)		
	14	血液疾患(2)	血液の働き(2)		
15	血液疾患(3)	血液疾患の病態生理(1)			

	回数	履修主題	履修内容
履修主題・履修内容	16	血液疾患(4)	血液疾患の病態生理(2)
	17	脳血管疾患(1)	脳血管疾患の病態生理と治療方法(1)
	18	脳血管疾患(2)	脳血管疾患の病態生理と治療方法(2)
	19	脳血管疾患(3)	脳血管疾患の病態生理と治療方法(3)
	20	脳血管疾患(4)	脳血管疾患の病態生理と治療方法(4)
	21	脳血管疾患(5)	脳血管疾患の病態生理と治療方法(5)
	22	脳血管疾患(6)	脳血管疾患の病態生理と治療方法(6)
	23	循環器疾患(1)	循環器の基礎と病態生理(1)
	24	循環器疾患(2)	循環器の基礎と病態生理(2)
	25	呼吸器疾患(1)	呼吸器の基礎と病態生理(1)
	26	呼吸器疾患(2)	呼吸器の基礎と病態生理(2)
	27	代謝疾患(1)	代謝内分泌の基礎と病態生理(1)
	28	代謝疾患(2)	代謝内分泌の基礎と病態生理(2)
	29	消化器疾患(1)	消化器の基礎と病態生理(1)
30	消化器疾患(2)	消化器の基礎と病態生理(2)	



2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

臨床工学科

授業科目 (科目ID)	看護学概論		担当教員  (実務経験)	長倉 竜也  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 看護師として医療施設にて患者看護を経験した他、感染管理分野に関する業務に従事		
対象年次・学期	3年・前期		必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	8	時間数	16時間
授業目的	看護の在り方や感染対策について広く学ぶ。					
到達目標	臨床工学技士が関わる業務領域において看護の在り方に加え、看護師が実践している感染対策について理解できるようになる。					
テキスト・ 参考図書等	プリント配付					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	100%	試験により評価する			
	レポート	%				
	小テスト	%				
	提出物	%				
	その他	%				
履修上の 留意事項	①スライドを中心とした講義形式。②テキストや資料の内容は、基本的内容なのでメモするなどきちんと学習すること。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	看護(1)	透析室における看護と感染対策(1)			
	2	看護(2)	透析室における看護と感染対策(2)			
	3	看護(3)	手術室における看護と感染対策(1)			
	4	看護(4)	手術室における看護と感染対策(2)			
	5	看護(5)	内視鏡室における看護と感染対策(1)			
	6	看護(6)	内視鏡室における看護と感染対策(2)			
	7	看護(7)	その他の領域での看護と感染対策(1)			
	8	看護(8)	その他の領域での看護と感染対策(2)			

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

臨床工学科

授業科目 (科目ID)	臨床実習	担当教員  (実務経験)	本吉 竜浩  臨床工学技士として医療機器を用いた循環器、呼吸器、 泌尿器に関する検査や治療業務に従事 別紙1参照		
対象年次・学期	3年・通期	必修・選択区分	必修	単位数	4単位
授業形態	実習	授業回数(1回90分)		時間数	180時間
授業目的	臨床工学技士として、医療における臨床工学の重要性・専門性を理解し、臨床現場において最も求められている知識・技術を習得する。				
到達目標	チーム医療の一員としての責任と役割を自覚し、臨床工学技士に求められる知識・技術・業務内容について理解し、行動することができる。				
テキスト・ 参考図書等	施設ごとに異なるため別途説明				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	①実習日誌(その日の実習に沿った内容が十分に書かれているか) ②実習態度(積極性、指示された業務を適切に実行できたか等) 以上を総合して評価をする		
	レポート	50%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
その他	50%				
履修上の 留意事項	別途実習要項配布。項目が多いため臨床実習開始前のガイダンスにて詳細説明あり。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	血液浄化療法実習 45時間	血液透析・アフェレーシス療法に関する項目の見学と実技実習		
	2	機器管理実習 45時間	医療機器の保守点検に関する項目の見学と実技実習		
	3	集中治療室・手術室実習 45時間	人工心肺手術・人工呼吸療法などに関する項目の見学と実技実習		
	4	その他 45時間	臨床工学技士業務全般に関わる項目の見学と実技実習		
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
15					

授業科目 (科目ID)	臨床実習	担当教員  (実務経験)	上田 恒佑  臨床工学技士として医療機器を用いた循環器、泌尿器に関する検査や治療業務に従事
対象年次・学期	3年・通期	担当教員	小山 有基
授業形態	実習	(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
		担当教員	山内 芳子
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

臨床工学科

授業科目 (科目ID)	卒業研究	担当教員  (実務経験)	本吉 竜浩  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 臨床工学技士として医療機器を用いた循環器、呼吸器、血液浄化に関する業務に従事 別紙1参照		
対象年次・学期	3年・通期	必修・選択区分	必修	単位数	3単位
授業形態	演習	授業回数(1回90分)	68	時間数	136時間
授業目的	臨床実習で実際の臨床現場を体験することで、新規性のある研究テーマを探求し、調査、研究した成果を報告する。				
到達目標	研究の流れを経験することで、現状の問題を発見し解決する能力、さらにはそれらの情報を発信するプレゼン能力を習得し、報告会にて発表することができる。				
テキスト・参考図書等	研究テーマごとに別途指示あり				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	提出物、研究・調査に取り組む態度および発表内容を総合して評価する		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	50%			
	その他	50%			
履修上の留意事項	研究テーマを探求、テーマに合わせて調査研究、実証実験、研究開発の実施。スライドまたはポスターにて発表。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	卒業研究(1)	ガイダンス		
	2	卒業研究(2)	研究テーマ決定準備		
	3	卒業研究(3)	研究テーマ決定準備		
	4	卒業研究(4)	研究テーマ決定準備		
	5	卒業研究(5)	研究テーマ決定準備		
	6	卒業研究(6)	研究テーマ決定準備		
	7	卒業研究(7)	研究テーマ決定準備		
	8	卒業研究(8)	研究テーマ決定準備		
	9	卒業研究(9)	研究目的の策定		
	10	卒業研究(10)	研究目的の策定		
	11	卒業研究(11)	研究方法の検討		
	12	卒業研究(12)	研究方法の検討		
	13	卒業研究(13)	研究方法の検討		
	14	卒業研究(14)	研究方法の検討		
15	卒業研究(15)	研究方法の検討			



	回数	履修主題	履修内容
履修主題・履修内容	16	卒業研究(16)	研究方法の検討
	17	卒業研究(17)	研究方法の検討
	18	卒業研究(18)	研究方法の検討
	19	卒業研究(19)	調査・実験
	20	卒業研究(20)	調査・実験
	21	卒業研究(21)	調査・実験
	22	卒業研究(22)	調査・実験
	23	卒業研究(23)	調査・実験
	24	卒業研究(24)	調査・実験
	25	卒業研究(25)	調査・実験
	26	卒業研究(26)	調査・実験
	27	卒業研究(27)	調査・実験
	28	卒業研究(28)	調査・実験
	29	卒業研究(29)	調査・実験
	30	卒業研究(30)	調査・実験
	31	卒業研究(31)	調査・実験
	32	卒業研究(32)	調査・実験
	33	卒業研究(33)	調査・実験
	34	卒業研究(34)	調査・実験
	35	卒業研究(35)	調査・実験
	36	卒業研究(36)	抄録作成
	37	卒業研究(37)	抄録作成
	38	卒業研究(38)	抄録作成
	39	卒業研究(39)	抄録作成
	40	卒業研究(40)	抄録作成
	41	卒業研究(41)	抄録作成
	42	卒業研究(42)	抄録作成
	43	卒業研究(43)	抄録作成
	44	卒業研究(44)	抄録作成
	45	卒業研究(45)	抄録作成

	回数	履修主題	履修内容
履修主題・履修内容	46	卒業研究(46)	抄録作成
	47	卒業研究(47)	PPT・ポスター作成
	48	卒業研究(48)	PPT・ポスター作成
	49	卒業研究(49)	PPT・ポスター作成
	50	卒業研究(50)	PPT・ポスター作成
	51	卒業研究(51)	PPT・ポスター作成
	52	卒業研究(52)	PPT・ポスター作成
	53	卒業研究(53)	PPT・ポスター作成
	54	卒業研究(54)	PPT・ポスター作成
	55	卒業研究(55)	PPT・ポスター作成
	56	卒業研究(56)	PPT・ポスター作成
	57	卒業研究(57)	発表練習
	58	卒業研究(58)	発表練習
	59	卒業研究(59)	発表練習
	60	卒業研究(60)	発表練習
	61	卒業研究(61)	発表練習
	62	卒業研究(62)	発表練習
	63	卒業研究(63)	発表練習
	64	卒業研究(64)	発表練習
	65	卒業研究(65)	発表①
66	卒業研究(66)	発表②	
67	卒業研究(67)	発表③	
68	卒業研究(68)	発表④	

